

消防団の主な活動

平常時の活動

■毎月2回の定例訓練

訓練礼式、消火訓練、救急法・救助搬送法などの消防活動の基礎訓練を実施します。

■広報活動

毎年春と秋の全国火災予防運動では、防火・防災意識と行動の重要性を啓発しています。

災害時の活動

■火災・救急搬送等の対応

緊急車両到着までの初期消火、応急手当、安全な場所への避難誘導を行います。

■災害現場での対応

台風接近時からすぐに出動できるように備え、消防職員と共に倒木や破損した建物を一時的に固定したりします。

消防団の気になるQ&A

Q 消防団はどんな人がなれるの？

A 消防団には、18歳以上の在住・在勤・在学する健康で体力のある方を募集しています。現在、会社員や自営業、公務員など業種は様々です。最近では学生や女性の方もいます。

Q 入団するメリットはありますか？

A 防災知識や技術が身につくことで、いざというときに身近な人や地域の皆さんを守ることができます。それに加えて幅広い世代・職場の人とつながりができます。

Q 消防団員と消防士の違いは？

A 消防士は、常に消防署で待機し災害や火災に備えて常勤しています。消防団は、普段は仕事や学業に従事しながら、災害時に必要な場面で出動する非常備の形で地域の防災活動を担っています。

一緒に活動しませんか？

消防団員募集！

消防団について詳しくはこちら▶

お問い合わせ
宜野湾市消防本部
警防課 警防係
☎896-2548

地域に根ざした活動

本市においては、台風による自然災害は基より、火災の消火活動や避難誘導、不発弾処理の警戒活動等の業務があります。このような中、消防団員に求められる地域住民の期待は、高まっており、我が消防団員一同は、一致団結し郷土防災の要として、地域の安全を守り、住民が安心できるように地域に根差した消防団を目指します。

消防団長 濱元 朝晴

私たちのまちの消防団

災害の最前線に立つのは、プロの消防士ではありません。本業を持ちながら防災活動に携わる「消防団」がいます。宜野湾市消防団は、火災や自然災害から住民を守る地域の防災リーダーとして私たちの安全安心を支える縁の下の力持ち、宜野湾市の安全を陰から支える消防団の姿を、今、あなたにお伝えします。

Interview

現役団員にいろいろを聞いてみました

Q 入団・活動して良かったことは？

消防団員 大里 奈巨

A 娘が食事中に喉に食べ物を詰まらせて危険な状態になりましたが、以前消防団で教わった救命方法を実践し、救急車が到着する前に異物を取り除くことができました。娘からは「今生きているのはお母さんのおかげ」と言われたことがとても嬉しく、この救命方法を周りの方々にも広めることで、地域の人の命も救える可能性があると思いました。

入団 6年目

守りたい人がそこにはいる

入団 4年目

家族のために 地域のために

Q.入団のきっかけは？

消防団員 富濱 宗茂

A 地域の先輩からのお誘いがきっかけで消防団に入団しました。整骨院を営むわたしにとって、消防団で学ぶスキルは将来役立つと思いました。長田区には7名の団員がおり、様々な世代の人々と交流できることが魅力です。普段会わない方々との活動は、新たな人間関係を築く貴重な機会となっています。